

## 予 算 要 求 資 料

令和6年度当初予算

支出科目 款：商工費 項：商工費 目：企業立地対策費

### 事業名 **【新】テクノプラザものづくり支援センター施設管理運営費**

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

商工労働部 産業デジタル推進課 IT拠点活用推進係 電話番号：058-272-1111(内3723)

E-mail：c11356@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 235,379 千円 (前年度予算額：78,900 千円)

#### <財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	78,900	0	0	9,403	0	0	3,938	0	65,559
要求額	235,379	45,100	0	10,311	2,465	0	5,520	0	171,983
決定額	240,386	45,100	0	10,311	2,465	0	5,520	0	176,990

## 2 要 求 内 容

### (1) 要求の趣旨(現状と課題)

テクノプラザものづくり支援センター・本館、第1別館、第2別館及びベンチャーファクトリー4県有施設について、施設管理及び運営を効率的に行うため、指定管理者制度を導入し、指定管理者による施設の維持管理、運営を実施する。

### (2) 事業内容

- ・指定管理期間  
令和6年4月1日～令和11年3月31日(5年間)
- ・指定管理業務
  - ①施設の維持管理業務(警備、清掃、設備点検及び受付案内等)
  - ②施設の使用許可(本館実証室、ベンチャーファクトリー、会議室及びホール等)
  - ③立地企業等の連携交流、産業人材育成研修業務
  - ④利用料金等の収受
  - ⑤施設のPR及びイベントの企画 等

### (3) 県負担・補助率の考え方

指定管理業務の実施にあたり、利用料金等の収入だけでは管理・運営に係る経費が賅われないため、県負担による指定管理料が必要となる。

### 3 事業費の積算 内訳

#### 支出

事業内容	金額	事業内容の詳細
報償費	84	評価員会議開催事務費（評価員報償費）
旅費	8	評価員会議開催事務費（費用弁償）
委託料	227,574	指定管理料：226,944 廃棄物運搬・廃棄費：630
使用料及び賃借料	7,713	評価員会議開催事務費（会議室使用料）：8千円 土地賃借料：7,705千円
合計	235,379	

※指定管理料 債務負担設定額：1,134,720千円  
(226,944千円/年×5年[R6~R10年度]=1,134,720千円)

#### 収入

(単位：千円)

使用料	目的外使用許可団体使用料（人材開発支援センター含）	4,782
	(株) ブイ・アール・テクノセンター 土地貸付料	5,515
	第一別館自販機	14
	計	10,311
その他	目的外使用許可団体管理費（人材開発支援センター含）	5,002
	本館自販機等共益費	161
	第一別館自販機共益費	55
	計	5,218

#### 決定額の考え方

土地賃借料は1年分を計上します。

### 4 参考事項

#### (1) 各種計画での位置づけ

<岐阜県経済・雇用再生戦略>

2 「DX」・「GX」推進加速化プロジェクト

<新たなビジネスモデルの創出支援>

#### (1) ソフトピアジャパン・テクノプラザの機能拡充・連携強化

○IT企業の集積拠点である「ソフトピアジャパン」と、産業のデジタル化や新産業創出を目指すものづくりの総合拠点である「テクノプラザ」との連携を強化し、新たなビジネスモデルの創出に向けそれぞれの強みを生かした総合的な支援を推進する。

# 事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

## 1 事業の目標と成果

### （事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

テクノプラザものづくり支援センターについて、指定管理者による管理運営を行い、県民生活の向上及び岐阜県のものづくり産業の振興を図る。

### （目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R4)	R4年度 実績	R5年度 目標	R6年度 目標	終期目標 (R10)	達成率
①施設平均稼働率 (ベンチャーファクトリー除く) 【課内指標】	25.5%			30%	50%	
②成長産業人材育成 研修受講者数 【交付金KPI】				610	610	

### ○指標を設定することができない場合の理由

### （これまでの取組内容と成果）

令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>取組内容と成果を記載してください。 指定管理者が県との協定に基づき施設の管理運営を行った。 業務実績については、外部有識者による評価を実施した。</li> </ul>
	指標① 目標：_____ 実績：_____ 達成率：_____ %
令和3年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>取組内容と成果を記載してください。 指定管理者が県との協定に基づき施設の管理運営を行った。 業務実績については、外部有識者による評価を実施した。</li> </ul>
	指標① 目標：_____ 実績：_____ 達成率：_____ %
令和4年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>取組内容と成果を記載してください。 指定管理者が県との協定に基づき施設の管理運営を行った。 業務実績については、外部有識者による評価を実施した。</li> </ul>
	指標① 目標：_____ 実績：_____ 達成率：_____ %

## 2 事業の評価と課題

### (事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3:増加している 2:横ばい 1:減少している 0:ほとんどない</li> </ul>	
(評価) 2	テクノプラザものづくり支援センターは県有施設であり、効率的な管理運営業務が必要である。
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3:期待以上の成果あり 2:期待どおりの成果あり 1:期待どおりの成果が得られていない 0:ほとんど成果が得られていない</li> </ul>	
(評価) 2	指定管理者制度を導入したことにより、事業費の節減や県民サービスの向上が図られた。
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2:上がっている 1:横ばい 0:下がっている</li> </ul>	
(評価) 1	指定管理者の指定にあたっては公募方式を採用しており、施設の管理運営方法や必要経費について審査のうえで指定管理者を決定することで、事業実施方法や経費について精査している。

### (今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 新型コロナウイルス感染症の影響等も考慮して運営しつつ、施設(貸会議室・科学技術図書資料室等)の周知を図り、利用率を向上させていく必要がある。また、「ものづくり産業の総合支援拠点」として、施設の運営管理の方法等を見直す必要がある。</li> </ul>
---

### (次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 令和6年度より、募集方法を特定者指名方式に変更し、テクノプラザ本館に加えて、周辺の他3県有施設を管理対象に加えることにより、エリア全体での効率的な施設運営を図り、「ものづくり産業の総合支援拠点」としての機能強化を図る。</li> </ul>
---

### (他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	
組み合わせる理由 や期待する効果 など	【〇〇課】